

学習シラバス (芸術) 科

科目名	単位数	学年・類型
美術 I	2	第 1 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 表現活動や鑑賞活動をとおして、美術を愛好する心情を育てます。 2 様々な表現活動から、感性を豊かにし表現・鑑賞能力を伸ばします。
---------	---

2 学習計画等

	学習内容	学習のねらい
1 学期	美術オリエンテーション	美術を学ぶとはどういうことを考え、意見を共有します。
	デザイン 【文字とデザイン】 ①ロゴマークの制作 ②スクリーン印刷	デザインとは何かを考え、意見を共有します。 ロゴタイプやシンボルマークについて学習します。 実際にロゴマークを制作し、シルクスクリーン印刷で作品にすることで、デザインについての理解を深めます。
	絵画 【身近なものを描く】 ①鉛筆を使った表現 ②絵の具を使った表現 ③作品制作 ④鑑賞	絵画とは何かを考え、意見を共有します。 絵画制作で用いる様々な画材の特徴を理解します。 画材の特徴を生かして身近なものを描きます。 鑑賞を通して表現の多様性を理解し、幅広い視野を育てます。
2 学期	立体 【土から生まれる彫刻】 ①彫刻作品の鑑賞 ②作品制作 ③鑑賞	彫刻とは何かを考え、意見を共有します。 石塑粘土で生き物を製作します。 粘土の扱い方を理解し、骨格や筋肉を意識しながら作品を制作します。 鑑賞を通して表現の多様性を理解し、幅広い視野を育てます。
	映像メディア表現 【日常を捉える】 【メッセージを伝える映像】 ①鑑賞 ②プレゼンテーション	映像メディア表現の概要について理解します。 3枚の組み写真を撮影し、鑑賞します。 写真に文字を入れることでメッセージをダイレクトに伝えることができること、また、写真を入れ替えることで全く違ったイメージが生み出されることを理解します。 鑑賞を通して表現の多様性を理解し、幅広い視野を育てます。
3 学期	絵画 【自己を描く】 ①スケッチ ②作品制作 ③鑑賞	画家の描いた自画像を鑑賞し、自画像を描く意味について考えます。 スケッチをすることで自分の表現主題を発見し、その主題を意識して作品制作をします。 鑑賞を通して表現の多様性を理解し、幅広い視野を育てます。

3 評価の観点及び内容、評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・造形の要素の働きを理解している。 ・全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、創造的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・制作作品 ・ルーブリック評価
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・感じ取ったことや目的を理解して主題を生成し、創造的に構想している。 ・感じ取ったことや目的などを基にして鑑賞し、想像力を働かせて鑑賞している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・制作作品 ・ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に美術の活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情が育っている。 ・感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していこうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に取り組む態度 ・制作作品 ・ルーブリック評価